

2010年度の日光門前まちづくりの活動は「ニッコウ・ミエルカ・プロジェクト」と銘打って、日光にある様々な事象や地域資源の顕在化を行うプロジェクトを開催しました。

展示会を中心に可視化（ミエルカ）を行う事業を積極的に行いました。また、「まちなかを使う」という事を強く意識し、住民・来訪者共に活性と啓蒙を狙った企画としました。これからもテーマを変え繰り返し開催する事によって、企画を地区に定着させたいと考えています。以下にそのプロジェクト内容をご紹介します。



nikko mieruka project

ミエルカ＝「見える化」

可視化の意味。このプロジェクトでは見えそうで見えないモノ・コト、知ってそうで知らないモノ・コトを顕在化させて、今後のまちの問題・課題解決に繋げるための可視化という意味合いで使用しています。

ロゴの意味：色は、伝統色の朱を用いて、古くから脈々と続く日光の文化を表しています。真ん中の大きな円は、日光の輪を、回りの小さな円は、それを取り巻く人々を表しています。また、全体として、ミエルカに因んで目がモチーフになっています。

あの時の日光展



往時の日光の風景を発掘し、これらを各施設や個店のショーウィンドー等のスペースをお借りして、「まちなかギャラリー」として街なか全体をギャラリーにしてしまおうという企画です。あなたが今訪れている「日光」私たちが今暮らしている「日光」世界遺産の歴史と共に生活してきた日



光人。これまで、どのような姿を持っていたのでしょうか？こんなにも情報溢れるこの時代を生きる私たちの、知っているようで知らない部分ではないかと思えます。今回は、昭和中期までの日光を、写真などの資料でふり返りました。資料は日光図書館からの他、個人で所有されている貴重なものもご提供いただきました。今後も、過去の風景の発掘を続けていきたいと思えます。

◆期間：2010年10月24日（日）～11月28日（日）

◆場所：日光の街なか一帯（旧日光、世界遺産の周辺地域）

◆協力店舗数：約40店舗

◆会場提供：JR日光駅・郷土資料センター・日光総合支所



←展示に際してのチラシ。市電の頃の写真です。

↓店先空間をお借りしての展示の様子。



●あの時の日光展

●日光マルシェ

●まちづくり展

まちづくり展



私たちの活動の源である、「まちづくり規範」を大きくパネル化、展示し、もう一度まちづくり規範を知り、これからのまちづくりを考えていくための展示企画です。1回目の展示を3月24日～3月31日、日光総合支所2階廊下にて、2回目の展示会を年4月1日～5月末まで、日光市民活動支援センターロビーにて開催しました。この展示会は今後もアイテムを増やして、日光市内を巡回予定です。皆様に見る度により深く知っていただければと思います。

日光マルシェ

街を「使う」青空市、日光マルシェ。スペースの有効活用と、日光の農産物を中心にクラフト品や珈琲、古本など様々な出展があります。駅前広場や街区公園、



神社の境内、店先空間や駐車場など、複数の会場を設定し、スタンプで巡るちょっと変り種のマルシェです。「マルシェ」は近年全国的に広がっている生産者と消費者が会える青空市です。日光では2010年秋の初開催からこれまでに3回の開催を数え、まだまだ成長の余地を残しながらも徐々に認知いただいております。また、日光を盛り上げたいという若い世代の輪の拡がりも徐々にあります。定期的にこのような形で街の賑わいを創出する意味も、大いにあるのではと考えます。今後も開催致しますので、是非ご参加下さい。

◆日光マルシェこれまでの開催◆

●第1回開催 2010年11月21日（日）
出店数：37店 初開催。天候に恵まれ盛況。

●第2回開催 2011年6月4日～5日（土・日）
出店数：41店 震災後まちの活力を取り戻すべく開催。初の2日間開催。被災地の物産品出店や募金も。

●第3回開催 2011年7月30日（日）
出店数：44店 日光夏祭りの企画として開催。社寺の祭事と街の活性が一つに。仙台より伊達武将隊もお迎えした。



各企画にご協力ご協賛いただきました皆様に御礼申し上げます。

これらの活動は「みんな」のまちづくりとして更に深化していく必要があると考えております。まちを「使う」青空市日光マルシェや各展示企画と一緒に日光を盛り上げていきましょう！

これらのプロジェクトは、当方人のサイトやブログ、ツイッターなどのインターネットを中心に情報発信をしております。是非ご確認下さい。

▼各種お問い合わせは下記メールにてお預かりいたします。
Mail : nikkomonzen@gmail.com



日光門前まちづくり
ホームページ
http://www.npo-nikko.jp/

